

大学行政管理学会(JUAM)「第 67 回九州・沖縄地区研究会」オンライン開催について

時下 会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて「第 67 回九州・沖縄地区研究会」を、次のとおりオンラインで開催する運びとなりました。今回は、**安德 勝憲氏**をお迎えし、「オーケストラ指揮者から盗め！VUCA 時代のリーダーシップ像」をテーマにご講演をいただきます。

安德氏は全日空エンタプライズ株式会社(現 IHG・ANA・ホテルグループジャパン)において 30 年間ホテル開発業務、その後はハウステンボス JR 全日空ホテル(現 ホテルオークラ JR ハウステンボス)などでホテル運営業務に携われました。その後、長崎国際大学人間社会学部国際観光学科教授、その後長崎大学地方創生推進本部で、COC+事業などに携わられました。今回は先生の豊富な経験をもとに、VUCA 時代に求められるリーダーシップ像についてご講演をいただきます。多様性が増大する組織、ガバナンスや教職協働が求められる時代、教員との関わりや管理職として、また WG やプロジェクトに係る中で大変参考になる講演と考えます。詳細は、添付の資料をご確認下さい(オーケストラ演奏の事前視聴のお願いもあります)。

次に、九州・沖縄地区研究会 若手・中堅職員勉強会企画として「新入職員への手引き～多岐にわたる部署・業務から見えてくるもの」と題し、若手・中堅職員の視点から、学校法人に勤めることについての話題提供を行います。職員は大学部門だけではなく、法人本部など様々な部署に配属される可能性があります。それらの業務の紹介や、業務を通じて得られる学校法人職員としての所感・やりがい・問題意識等を共有できればと考えています。コロナ禍において、他の職員と交流が難しい現状ですので、特に今年度や昨年度入職された方は、ふるってご参加ください。また、会員の皆様におかれましては所属校の若手職員の皆様にご案内くださいますようお願いいたします。

参加の皆様の業務に取り組むうえで、またこれからの職業人としての人生に、必ず役に立つと思います。是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。なお、通信等の不具合が生じる可能性がありますことを予めご了承ください。

記

○日 時：2021 (令和 3) 年 5 月 22 日 (土) 14:00～ (終了予定時刻 16:35)

○会 場：オンライン(Zoom)での開催

参加に必要な情報については後日、参加者の皆様にお知らせします。

オンライン参加に不安な方向けに当日 13 時 00 分から接続テストの時間を設ける予定です。

○内 容：

1. 開式 14:00
2. 講演「オーケストラ指揮者から盗め！VUCA 時代のリーダーシップ像」 14:05～15:15 (70 分)  
合同会社 HR エンゲージメント代表 安德 勝憲 先生  
ご講演の後、質疑応答を行います。
3. 若手・中堅職員勉強会企画 15:25～16:15 (50 分)  
「新入職員への手引き～多岐にわたる部署・業務から見えてくるもの」  
福岡大学 川上竜躍、梶原菜央、廣木摩理勢 熊本学園大学 新福拓也 西南学院大学 西村淳、根岸恵
4. 意見交換会 16:15～16:30(15 分)
5. 事務連絡 16:30～16:35 (5 分)

研究会終了後、任意参加による「情報交換会」を企画しています。

○参加申込：参加申込は、Google フォーム (<https://forms.gle/sD9WiLSa5NhjBjbdA>) 又は、事務局に E メール ([juam-niu@niu.ac.jp](mailto:juam-niu@niu.ac.jp)) で氏名、所属学校・部署、役職、情報交換会への参加の有無を明記のうえ、5 月 19 日 (水) までにお願ひします。

○お問い合わせ先：地区研究会事務局担当 長崎国際大学内 芳野、福田(恵)、矢野

E メール [juam-niu@niu.ac.jp](mailto:juam-niu@niu.ac.jp) (お問い合わせは、メールでお願ひします)

ご案内の皆様へ

経営学者 P.ドラッカーは 1965 年に発表した著書『現代の経営』の中でオーケストラ指揮者に注目して以下のように述べています。「“経営者は、投入された経営資源の総計を超える成果を生み出さなければならない。言い換えればオーケストラの指揮者である。指揮者のエネルギー、ビジョンそしてリーダーシップによって、単に音を出すだけの楽器が生きた音楽を生み出す」



近年わが国ではジョブ型雇用が喧伝され始めていますが、ジョブ型雇用のプロトタイプの一つがオーケストラです。内心では「いい指揮者？それは我々の邪魔をしない指揮者さ」と思っているプロフェッショナル集団を、世界的な指揮者たちがどのようにして自分の楽器に変身させているのか？手練のワザを楽しみながら、そのエッセンスを盗みましょう。数寄屋次郎さんもこう言っています。「教えてもらったことは忘れるが、盗んだものは忘れない！」

今回は、以下の様なお話しをさせていただく予定です。

Contents	
1. 第一印象ファースト	6. 誰がボスだ
2. 言葉の魔力	7. 神は細部に宿る
3. ヨコのコミュニケーション	8. 遊び心を大切に
4. 備えあれば患いなし	9. イノベーション
5. タイムマネジメント	

～お願い～

お忙しいとは存じますが、もし可能であれば、裏面の5つのYouTubeビデオ映像を事前にご視聴願います。本当は講演のなかで逐次ご紹介したいのですが、時間が足りないため申し訳ございません。音楽だけでなく、世界的なオーケストラ指揮者のそれぞれ個性的な表情や指揮ぶりもお楽しみください。特に、ゲルギエフのドヤ顔は圧巻ですよ。

合同会社 HR エンゲージメント 代表 安徳 勝憲  
ホームページ <https://hr-engagement.jp/>

1	<b>楽譜の読み込み</b>	
	YouTube 検索名	ベートーヴェン交響曲第五番冒頭指揮者比較 (約12分)
<p>ジャジャジャ ジャーン！ 交響曲「運命」の冒頭5小節だけをトスカニーニ、ベーム、カラヤン、バーンスタイン、小澤、ラトルなど新旧マエストロ21名(!)が次々と指揮しています。演奏速度も指揮ぶりもそれぞれ個性的ですが、みなさんは誰がお好きですか？ ベートーヴェンは楽譜に アレグロ・コン・ブリオ(速く、生き生きと)と書いているだけです……。</p>		
2	<b>第一印象ファースト</b>	
	YouTube 検索名	ポルカ「雷鳴と稲妻」カルロス・クライバー 1992 (約6分)
<p>三大テノールの一人プラシド・ドミンゴはクライバーをこう評しています。「クライバーの指揮には出来不出来があった。しかし、指揮台での表情や動作一つ一つが信じられないほど美しかった。そのため、いつも聴衆はクライバーを見たがった。」ぜひみなさんもクライバーの華麗な指揮ぶりを見てみてください。</p>		
3	<b>言葉の魔力</b>	
	YouTube 検索名	マーラー アダージェット バーンスタイン (約12分)
<p>指揮者バーンスタインは、弟子の佐渡裕に名画「ベニスに死す」でも使われたこの有名な楽章の指揮法を教えるとき、「ここは能楽師の極限的な緊張感に裏付けられた静かな動きをイメージして指揮するように」と注文を付けています。</p>		
4	<b>言葉の魔力</b>	
	YouTube 検索名	メンデルスゾーン イタリア 第一楽章 ドウダメル (約8分)
<p>指揮者パーヴォ・ヤルヴィは冒頭部分のリハーサルで、「ここはイタリアの大聖堂前の広場で、なにかの音に驚いたたくさんのハトがいっせいに飛び立つように」と視覚的なイメージを伝えていました。この映像の指揮者は2017年のウーンフィル・ニューイヤーコンサートに登場して世界中の注目を集めたグスターヴォ・ドウダメルですが、ハトは飛んでいるでしょうか？ 目をつむって聴いてみてください。</p>		
5	<b>遊び心を大切に</b>	
	YouTube 検索名	ポレロ ゲルギエフ (約17分)
<p>このバレエ曲は、ドラムがきざむ小さなリズムによってフルートが美しいメロディを奏でて始まります。その後次第に楽器が増えていき、最後は大編成オーケストラの絢爛たるフィナーレとなるのですが、指揮者佐渡裕は、あるイベントでこれを前後全く逆から演奏するという奇抜なアレンジで聴衆の大喝采を得ました。残念ながらその映像はありませんが、皆さんは頭の中でひっくり返して想像してみてください。佐渡裕の遊び心が感じ取れると思います。ロシアの名指揮者ゲルギエフは、いつも海外からの賓客を待たせるプーチン大統領を待たせたことでも有名です。</p>		